

# ワクチンの確保について

- 平成21年度末まで、国内産ワクチン5,400万回分<sup>(注)</sup>程度を確保するとともに、海外企業から9,900万回分<sup>(注)</sup>程度を確保見込み(平成22年1月20日時点)。

国内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月19日(月)の週から順次接種開始</li> <li>・第10回出荷(2月15日)分までに約3,900万回分<sup>(注)</sup>を出荷</li> <li>・年度内に約5,400万回分<sup>(注)</sup>を確保予定</li> </ul>
輸入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・輸入ワクチンの確保のために必要な立法措置を実施</li> <li>・1月20日特例承認</li> <li>・年度内に約9,900万回分<sup>(注)</sup>を確保予定</li> </ul>

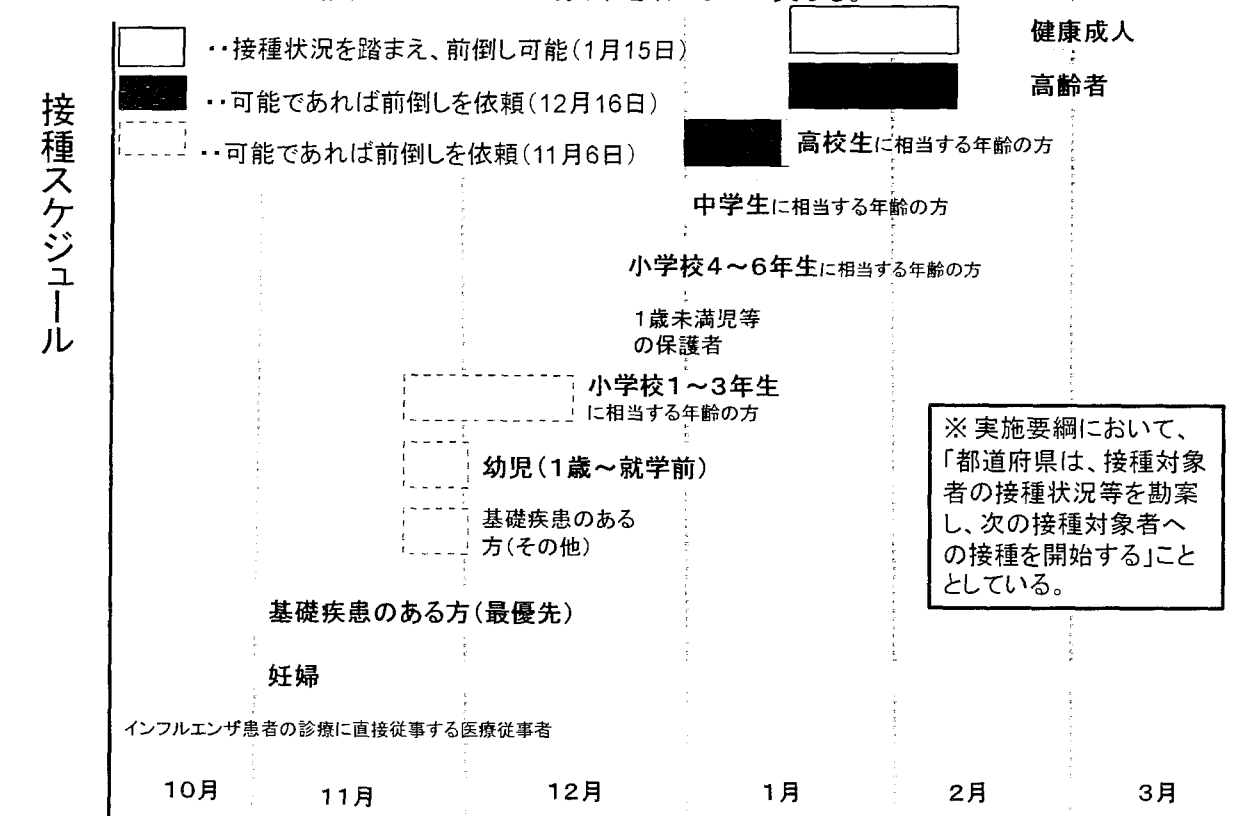
(注)回数 は成人量換算

(参考)国内産ワクチンの接種回数について(12月16日公表)

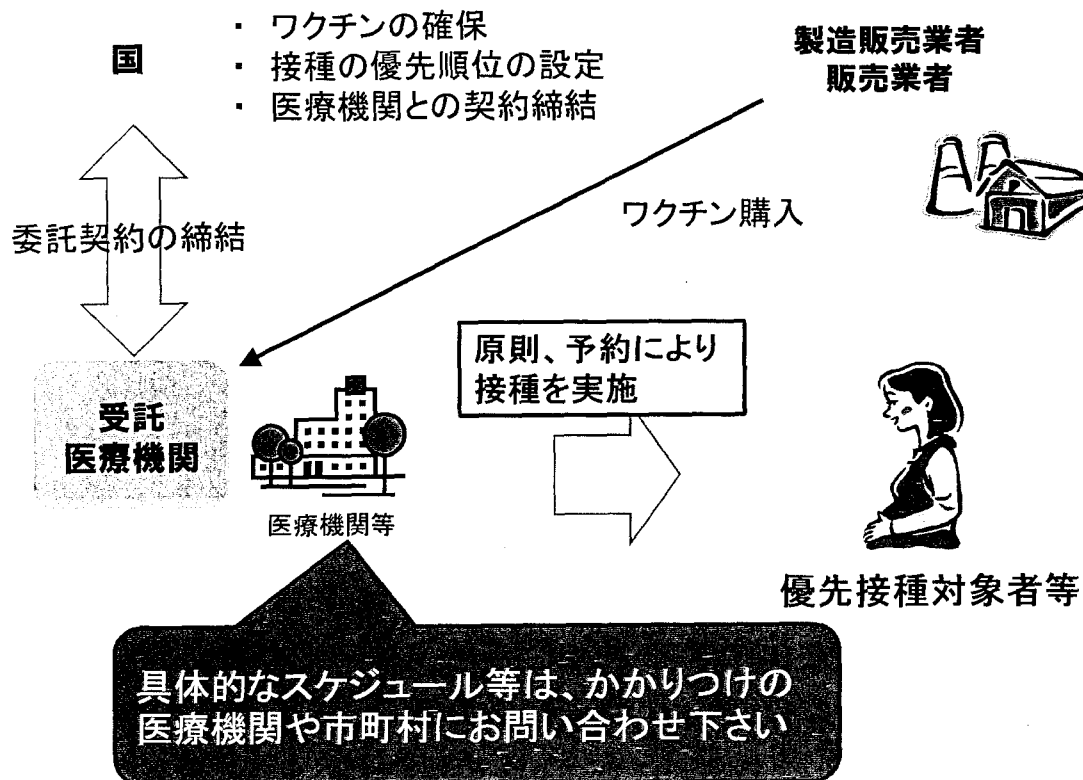
- 「13歳未満の者」については、2回接種
- 上記以外の者については、免疫機能の低下した基礎疾患を有する方を除き、1回接種

## 接種スケジュールの目安

○ 国が示している標準的接種スケジュールであり、地域によって異なる。



# ワクチン接種事業のスキーム



55

## 費用負担について

○費用負担については、実費を徴収。

接種費用 : 合計 6,150円  
1回目 3,600円  
2回目 2,550円(※)

※ 1回目と異なる医療機関で接種する場合は3600円  
(基本的な健康状態等の確認が必要なため)

○所得の少ない世帯の負担軽減

- ・国としては、市町村民税非課税世帯を軽減できる財源を措置(国 1/2、都道府県 1/4、市町村 1/4)
- ・市町村は、これを踏まえ、軽減措置の内容を決定し、実施。

56

厚生労働大臣が行う新型コロナウイルス感染症予防接種による健康被害の迅速な救済を図るとともに、必要な海外生産分の輸入を行うため副作用被害等に関する企業への国の損失補償を行うために、新たな立法措置を講ずる。

#### 1. 健康被害が生じた場合の救済措置の整備

- 厚生労働大臣は、新型コロナウイルス感染症予防接種において、当該予防接種を受けた者について、健康被害が生じた場合の救済措置を講ずること。
- 給付の額等については、予防接種法の二類疾病の定期接種に係る給付に関する措置(医薬品医療機器総合機構法に基づく副作用救済給付と同様)を踏まえたものとする。

#### 2. 輸入企業との契約内容への対応 (副作用被害等に関する企業への国の損失補償)

- 特例承認を受けた新型コロナウイルスワクチンの製造販売業者を相手方として、ワクチン使用により生じた健康被害に係る損害を賠償すること等により当該製造販売業者に生じた損失等については、政府が補償することを約する契約を締結することができること。

#### 3. 施行期日

12月4日(公布日施行)。ただし、健康被害の救済措置に係る規定は、施行日前に新型コロナウイルス感染症予防接種を受けた者にも適用すること。

#### 4. 検討規定

政府は、厚生労働大臣が行う新型コロナウイルス感染症予防接種の実施状況、新型コロナウイルス感染症予防接種の有効性及び安全性に関する調査研究の結果等を勘案し、将来発生が見込まれる新型コロナウイルス感染症等感染症に係る予防接種の在り方、当該予防接種に係る健康被害の救済措置の在り方等について速やかに検討を加え、その結果に基づいて所要の措置を講ずるものとする。

## 外部からの指摘

## 外部からの指摘①

<例>

### 全般

- ・対策全般についてやり過ぎだったのではないか
- ・対策の切り替えのタイミングが遅かったのではないか(自治体の対策切り替えの追認ではなかったか)

### 広報

- ・政府は対策の目的やウイルスの病原性について正確な情報を提供できていなかったのではないか
- ・政府の広報(大臣会見等)が国民の不安をあおったのではないか

### 水際対策

- ・検疫に効果はあったのか。単なるパフォーマンスであり、やり過ぎだったのではないか
- ・検疫を行っていたのは、日本だけではないか

### 公衆衛生対策

- ・大阪府、兵庫県下全域の学校の臨時休業はやり過ぎだったのではないか

59

## 外部からの指摘②

<例>

### サーベイランス

- ・海外滞在歴を症例定義に入れる等症例定義に問題があったのではないか(そのため、国内患者の発見が遅れたのではないか)
- ・全数把握はもっと早くやめるべきだったのではないか

### 医療

- ・「発熱外来」に発熱患者が押し寄せパンクするなど、「発熱外来」の設置や運営に問題があったのではないか

### ワクチン

- ・ワクチン輸入の検討が遅れたのではないか。量が不足しているのではないか。
- ・ワクチン行政を推進すべきではないか(接種の推進、対象の拡充、国内ワクチンメーカーの育成、研究開発の推進等)
- ・ワクチン接種回数の変更が混乱を招いたのではないか
- ・10mlバイアルは製造するべきでなかったのではないか
- ・ワクチンの優先順位などはある程度現場に任せ柔軟に対応すべきだったのではないか。

60

## 評価の視点

- 1 目標達成状況
- 2 対策の効果
- 3 諸外国との比較
- 4 施策の遂行上の課題

21

## 目標達成度の検討項目

1. 感染拡大のタイミングを遅らせることはできたか。
2. 感染のピークを可能な限り低く抑えることはできたか。
3. 国民生活や経済への影響を最小限にすることはできたか。
4. 基礎疾患を有する方々等を守ることはできたか。
5. 重症者、死亡者の数をできるだけ最小限にすることはできたか。

22